

もに全員賛成で可決しました。

次に、議案第69号及び第70号の「専決処分  
の承認について」は、委員会、本会議ともに賛成  
者はなく、不承認と決しました。第69号は、市  
税賦課徴収条例の一部改正、70号は、国民健康  
保険条例の一部改正を専決処分したのですが、  
両案ともに6月1日から施行することとなる規

定の改正部分が含まれていました。審査が行わ  
れた総務、厚生各委員会においては、「予算  
が5月までの暫定予算となっており、6月1日  
以前に議会の開催が想定されていた。さらに、  
専決処分は3月31日に行っており、6月1日ま  
では議会を招集する時間的余裕はあった。にも  
かかわらず、規定の改正を議案として上程せ

ず専決処分することは、不適切であり承認する  
ことはできない」との指摘がありました。

なお、他の3件の専決処分については、全員  
賛成で承認しました。（8ページ参照）

また、非核三原則の法制化を求める意見書採  
択に関する陳情を採択するとともに、同意見書  
を全員賛成で可決しました。（3ページ参照）

## 一般会計暫定補正予算案に対する討論の要旨

5月31日の本会議で平成22年度一般会計暫定補正予算案に対する表決に先立ち、各党派等から討論（意見の表明）が行われました。  
党派等がまとめたその要旨を、一定のスペース内で様式は自由に掲載しています。

### 暫定予算でも 市民生活に影響が及ばぬ様に！

自民党・新和会 井沢 邦夫  
(所属5名・賛成)

平成22年度は2カ月間の暫定予算で始まり、  
この第2回定例議会ではあらためて本予算が提  
案された。しかし国分寺駅北口再開発に関わる  
事業計画や財政フレームにおいて23年度収支均  
衡させるという計画の変更に対して、多くの議  
論が噴出した。

その結果、国分寺駅再開発については7月中  
旬に、また収支均衡に向けた行政改革による経  
費削減の具体的取組については、7月上旬に方  
向を示すとの市長表明が行われた。その上で、  
9月までの4カ月間の暫定予算が再び提案され  
たが、これによって通算6カ月間の暫定予算と  
なり、市民生活に重大な影響が出てくる懸念が  
大いにある。

しかしこの暫定予算には、高齢者支援や保育  
支援などの福祉関連予算などははじめとして教  
育予算など生活に密着した必要最低限の事業が  
盛り込まれている。したがって、この暫定予算  
は絶対成立させなければならないと考える。

ただし、今年度に入ってからの2度の暫定予  
算は、市民サービスの低下や職員の過大な事務  
負担を生じさせている。この暫定予算が成立し  
たとしても、9月の本予算提案までに時間的な  
余裕は少ないと思われる。従って、今議会で問  
題となった2つの大きな懸案事項については、  
その重大性にかんがみ、これからできる限り十  
分な庁内協議や関係機関との検討および市民説  
明を速やかに行い、さらに全市民の代表である  
議会に対しても十分な資料の提供と説明を行う  
べきと考える。

かさねて申し添えるが、今後の9月の定例会  
での本予算成立に向けて、万端怠りない準備を  
お願いしたい。

### 半年もの暫定予算は異常だ 市長は反省を

市民サイド 釜我 健二  
(所属4名・賛成)

6カ月間という長期にわたって、市政を暫定  
予算で執行することは、異常としか言いようが  
ない。市長には自らが生み出したこの事態を深  
刻に受けとめ、反省をしてもらいたい。

#### 国分寺駅北口に2棟の巨大マンション

で「カベ」を作ってよいのか

今回の予算委員会の最大のポイントは、国分  
寺駅北口再開発事業であった。市長は28階と34  
階の2棟の巨大マンション案を示したが、これ  
では駅前に2つの巨大カベを作るようなものだ。  
商業活性化はどこへ行ったのか。今後、市長は  
再検討をして見直し案を7月中旬に示すとのこ  
となので、それを信頼し見守っていきたい。

以下、具体的に何点か指摘をする。

①市の事務的ミスより生じた損害を、国家賠償

法に基づいて請求通り支払った件について、そ  
の手続や基準が明確でない。今後も同種の事態  
が考えられるので十分に研究をしてほしい。

②四小跡地利用の実態が、当初計画と違ってき  
ているのは問題だ。調査のうえ報告を求める。

③学校給食の食材の値上がりを、即保護者の負  
担の増にすべきでない。食材購入の方法の改善  
など努力をし、保護者負担の軽減をすべきだ。

④図書館の蔵書についていくつかの議論があっ  
たが、図書館は戦前の国家統制への反省から、  
戦後の新憲法、教育基本法、社会教育法、図書  
館法などでしっかり規定されている。権力が介  
入したりすることはさけるべきだ。そういう立  
場から教育委員会にも努力を求めたい。

⑤市の昇任試験の方法がダブルスタンダードに  
なっているのは公平性から疑問がある。改善へ  
向けての検討を求めたい。

⑥新規提案されている市民協働事業は個人のプ  
ライバシーに関する保護のしくみが不明確など  
問題が多い。凍結するとのことだが、今後この  
ようなことがないよう強く求める。

以上、いくつかの問題点を指摘したが、市民  
生活に必要な市の予算がないなどということは  
許されない。そのような立場から本暫定予算に  
は賛成の意を表する。

### 「二兎を追うものは二兎を得る」 行政経営を！

生活者ネット・市民クラブ 梁川 律子  
(所属4名・賛成)

今回の暫定補正予算提案は自治法上は問題が  
ないことにはなりますが、暫定であり、さらに補  
正という提案の仕方が、首長の権限と議員の権  
限を分かりにくいものになっています。今回の事  
態を広報紙を通して、市民への説明をしっかりと  
果たすべきです。

国分寺駅再開発事業については一昨年のリー  
マンショックの際、その後も影響が出て、事業  
遂行が不確かなものにならないかとの指摘をし  
ましたが、市長をはじめとする、事業の中核を  
担っている管理職、コンサルタントの方は「国  
内での影響は緩やか」との認識しか持っておら  
ず、さらにその対応の遅れは、情報共有、情報  
公開が適切に行われなかったことに起因してい  
ます。西街区ビルの住宅を導入した施設建築物  
への都市計画変更はまちづくりの総合性の一つ  
である商業振興は近隣商店と連携し、その起爆  
剤になるような可能性を追求できるのではない  
かと考えます。事業費については市の財政負  
担を圧縮する考えならば、財源をどこから生み  
出すのか、苦しい選択もするべきです。後年度  
負担を減らすことと市民生活が十二分にでき  
るという、「二兎を追うものは二兎を得る」とい  
う総合的な視野を学んでいただきたい。

施設建築物の具体性について7月中旬までに  
庁内合意を得るとしていますが、その前に権利  
者、議員、市民意見を聞き、合意形成を図るべ  
きと考えます。

まちづくりは50年、100年先を見通し、次世  
代に誇れるようなまちをつくることです。市長  
おひとりの政治生命をかけることではありません。  
みんなで知恵を絞り、より適切なものを作り  
上げていくことではないでしょうか。

行政経営は時に敏感に対応し、将来見通しを  
しっかりつけていくことが求められます。

今予算提案に当たっては市民生活への影響が  
少ないということでは済まされません。市長の  
「時と場所と場合に応じて変幻自在」に発言し  
ているなど、早急に責任を明らかにすることを  
求めます。

### 再度の暫定予算提案と 星野市政について

公明党 松長 孝  
(所属4名・賛成)

当初予算の3月から、今回の半年にわたる暫  
定予算に至る経過の原因は、市長の再三再四に  
わたる施政方針の変更に尽きると思う。果たし  
て、これほど施政方針を軽々と変えている市政  
というものが他市に例があるのか？ また、市  
民生活に多大な影響がある事業は、精査をして  
暫定予算に盛り込むと言っていたが、疑念が持  
たれるものもある。

今回、暫定予算になった一番の大きな原因は、  
北口再開発・西街区の問題に尽きる。

市長は、3月に予算を自ら取り下げ、今回も  
同じ轍を踏むことになった。これが「政治生命  
をかけ」と何回も繰り返し発言しただけに残念  
である。

なおかつ、7月中旬までに再開発の方向性を  
決めるという方針であるが、9月までの暫定予  
算の提案では、我々議員は市民の代表として議  
論することができず、見切り発車する政策を見  
送る立場に追い込まれた形だ。

再開発・西街区に関して、権利者の意向・商  
業振興・まちづくりの理念・財政負担に十分な  
配慮をすることは大前提だが、各目標を達成す  
ることは非常に困難だと思われる。

市長の方針がぶれるたびに、最前線で対応し  
ている職員の中には、負荷に耐えられず健康被  
害がすでに出はじめている状況だ。危惧をする。  
再開発事業に当たって責任を持つと言うので  
あれば、最前線に立って職員と歩みを共にし、  
市民にしっかりと説明を行うのが政治責任のと  
り方ではないか。

今回の暫定予算の中で、先送りした事業に、  
健康に関するものもある。星野市政の氷山の  
一角ではないか。精査すべきだ。

再開発事業は、30数年間にわたる、国分寺市  
の最重要課題だ。9月の本予算提案時は、再度  
の方針変更をすることは許されない。決断無  
き政治家としての姿勢は改めていただきたい。猛  
省を求める。

苦渋の選択だが、市民の生活を守らなければ  
いけない立場によって今暫定予算を賛成とする。